

【6-5 外部評価応答リスト 記入例】

番号	受付年月日	版	評価者(所属・役職) 組織	評価内容	返答内容	返答年月日
12)	2013/6/15	SRLレポート	●● ▲▲ (■ ■大学 ◆科・准教授)	CQ5のシステマティックレビューにおいて、死亡に関する非直接性の評価が「低」と判断されているが、統合されている論文すべての用量が日本で認められている用量と大きく異なっており、この非直接性は「中」または「高」と評価すべきではないか。	システマティックレビューチームでは、当初用量の差は問題となるほど大きくはないと考え、「低」と判断していたが、評価を受けて再度検討し、「中」と改めることとした。	2013/7/30
13)	2013/9/7	草稿	○○ △△ (□ □大学 ◇科・准教授)	CQ12のエビデンス総体の評価において、治療AとBの間で依存度に大きな差があり、治療Aの方が依存度を明確に改善することが示されているにもかかわらず、推奨文では治療Bを推奨している。治療Aを推奨すべきではないか。	同CQにおいて、依存度の他に死亡率を考慮しており、確かに依存度では治療Aの方が優れていることが示されていたが、作成グループでは、同時に検討した生存率を重視し、さらに、害の大きさを考慮した結果、治療Bを推奨するに至った。評価を頂いた後に、推奨について再度検討を行ったが、上の理由により、やはり治療Bを推奨することとした。	2013/11/11